

**最終講義**

# 日大阿部教授に聞く

阿部 忠教授 定年退職記念祝賀会



祝賀会で花束を受け取る

日本大学生産工学部を3月31日に定年退職した阿部忠教授はさかのぼる研究活動を通じて、共に研鑽を積んだ研究仲間や教え子が集まり、一つの区切りとなる講義に熱心に聞き入った。この4月から再スタートをまるで、これまで振り返ると共に、今後の意気込みを聞いた。

阿部教授・略歴

1972年に同学部の副手、77年助手、86年専任講師、2001年助教授、そして05年から教授特に構梁床版に関する研究に尽力、近年ではグリッド・メタル筋を用いた各種補強工法、プレキャスト化したRC取替床版など企業との共同研究の成果が注目される。土木学会での道路構梁床版を対象とした各・小委員会での活動、千葉県はじめ多くの自治体の道路橋長寿命化修繕計画検討委員会に委員として関わるなど多岐に活動。

## 原点は実験装置の開発から

## 46年間の教育・研究活動

### 原点は実験装置の開発から

まず研究の原点である実験装置の開発についてお願いします

阿部 1995年、専任教師だった頃、本格的に講師として走行振動疲労実験を行なっておりました。私は研究者でもあります。大学教員でもあります。しかし、個人の研究テーマとは別に、大学院生や卒業研究と、様々なテーマで共同研究を行なっていました。

す。

——これまでの研究生

す。

す。